



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 神戸発動機株式会社  
コード番号 6016 URL <http://www.kobe-diesel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 道生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 森山 敬之

TEL 078-949-0800

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,267	△32.2	△182	—	△183	—	△180	—
28年3月期第2四半期	6,290	11.4	△201	—	△218	—	△220	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△6.47	—
28年3月期第2四半期	△7.88	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,528	4,640	37.0
28年3月期	11,703	4,848	41.4

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 4,640百万円 28年3月期 4,848百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	1.00	1.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期末の配当予想については、現時点では未定です。

### 3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,840	△11.6	70	191.7	60	445.5	50	△35.1	1.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	28,000,000 株	28年3月期	28,000,000 株
29年3月期2Q	42,645 株	28年3月期	41,945 株
29年3月期2Q	27,957,755 株	28年3月期2Q	27,960,132 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. その他	9
(1) 売上及び受注の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境等に改善が見られるものの、円高・株安の進展や中国をはじめとする新興国経済の停滞感等が企業の設備投資や輸出に影響し、企業収益改善に鈍さが見られました。また個人消費においては、節約志向等により力強さを欠き、景気回復は足踏み状態が続いています。さらに海外においては、資源安による資源輸出国の経済の後退や英国のEU離脱決定による金融不安、米国の金利利上げの動向等、世界経済に大きな影響を与える注視すべき事項が存在し、先行きの見通しが不透明な状況であります。

一方、わが国海運・造船業界は、円高進行の影響を受け企業収益が悪化しており、新興国経済の後退や船腹過剰等の状況から海運市況の回復には今暫く時間を要するものと予想されます。また新造船価は低水準で推移しており、新造船受注環境の改善の遅れから今後の仕事量確保への影響が懸念されており、依然として厳しい経営環境下で先行きの見通しづらい状況が続くものと思われまます。

この様な状況下にあつて、当第2四半期累計期間の売上高は、主力製品である舶用内燃機関が26億8千9百万円と前年同四半期と比べ20億6百万円(△42.7%)の減収、修理・部品等は15億7千8百万円と前年同四半期と比べ1千7百万円(△1.1%)の減収、全体としては42億6千7百万円と前年同四半期と比べ20億2千3百万円(△32.2%)の減収となりました。

損益面では、主機関においては販売価格の改善と製造コスト低減努力の継続による結果、採算の改善が引続き見られるものの、販売台数が減少傾向にあり、厳しい海運・造船業界の影響を受けています。また、部品販売においては未だ低迷する海運市況や円高の影響を大きく受け、売上が当初の予想を下回っておりますが、営業損失は1億8千2百万円(前年同四半期は2億1百万円の損失)、経常損失は1億8千3百万円(前年同四半期は2億1千8百万円の損失)、四半期純損失は1億8千万円(前年同四半期は2億2千万円の損失)と前年同期比では若干の改善となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ8.4%増加し、95億5百万円となりました。これは、主として現金及び預金が5億4千6百万円、製品及び仕掛品が3億1千2百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が3億2千5百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ3.1%増加し、30億2千3百万円となった。これは、主としてリース資産等の増加によるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ7.0%増加し、125億2千8百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ18.0%増加し、57億4千万円となりました。これは、主として前受金が6億5千8百万円、支払手形及び買掛金が1億6千8百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ7.9%増加し、21億4千7百万円となりました。これは、主としてリース債務が8千4百万円、長期借入金が5千5百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ15.1%増加し、78億8千8百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ4.3%減少し、46億4千万円となりました。これは、主として四半期純損失等により利益剰余金が2億8百万円減少したことなどによるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ5億4千6百万円増加し、38億5千1百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による結果取得した資金は、5億5千6百万円（前年同四半期は3千万円の支出）となりました。前年同四半期に対する主な要因は、売上債権、たな卸資産、仕入債務の増減によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による結果使用した資金は、1億3百万円（前年同四半期は1千4百万円の収入）となりました。前年同四半期に対する主な要因は、有形固定資産の取得による支出の増加によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による結果取得した資金は、9千3百万円（前年同四半期は5億4千6百万円の収入）となりました。前年同四半期に対する主な要因は、長期借入れによる収入の減少によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、前年同四半期と比べ減収となりましたが、損益面は改善しました。当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものの、計画どおり下期の業績改善を見込んでおり、平成28年6月1日に公表いたしました業績予想の修正は行っておりません。また配当予想についても現時点では未定としております。

なお、平成28年11月10日付の適時開示「舶用ディーゼルエンジン事業統合に関する基本合意書締結について」に記載のとおり、事業統合に基づく翌期以降の経営状況が不透明であり、今後、本事業統合過程における諸費用等が発生する可能性があり、また期末決算における引当金等の見積額が現状見込めない状況にあります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、減価償却方法の変更に伴う当第2四半期累計期間の業績への影響は軽微であります。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,305,372	3,851,783
受取手形及び売掛金	2,755,415	2,429,680
製品	711,371	1,018,415
仕掛品	1,460,646	1,465,905
原材料及び貯蔵品	529,143	563,003
その他	9,933	177,145
貸倒引当金	△1,600	△700
流動資産合計	8,770,284	9,505,235
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,741,399	1,697,469
その他(純額)	978,618	1,099,130
有形固定資産合計	2,720,017	2,796,599
無形固定資産		
	91,496	107,644
投資その他の資産		
投資その他の資産	151,870	119,242
貸倒引当金	△29,819	-
投資その他の資産合計	122,051	119,242
固定資産合計	2,933,566	3,023,485
資産合計	11,703,850	12,528,720
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,999,686	3,168,599
1年内返済予定の長期借入金	832,800	833,300
未払法人税等	14,913	14,719
前受金	8,646	666,702
受注損失引当金	424,000	424,000
その他の引当金	99,201	87,325
その他	485,953	546,065
流動負債合計	4,865,201	5,740,712
固定負債		
長期借入金	1,502,400	1,557,500
退職給付引当金	200,245	213,280
その他の引当金	24,124	28,541
その他	263,845	348,392
固定負債合計	1,990,615	2,147,714
負債合計	6,855,817	7,888,427

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,215,000	2,215,000
資本剰余金	1,709,750	1,709,750
利益剰余金	900,227	691,517
自己株式	△7,174	△7,222
株主資本合計	4,817,803	4,609,044
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30,230	31,249
評価・換算差額等合計	30,230	31,249
純資産合計	4,848,033	4,640,293
負債純資産合計	11,703,850	12,528,720

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,290,464	4,267,255
売上原価	6,010,347	3,952,155
売上総利益	280,116	315,100
販売費及び一般管理費	482,059	497,906
営業損失(△)	△201,942	△182,805
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,035	1,884
受取家賃	3,506	3,300
受取賃貸料	4,146	2,187
雑収入	3,822	2,713
営業外収益合計	13,510	10,084
営業外費用		
支払利息	6,257	8,184
貸倒引当金繰入額	20,000	-
雑損失	3,618	2,391
営業外費用合計	29,876	10,576
経常損失(△)	△218,308	△183,297
特別利益		
固定資産売却益	216	6,365
特別利益合計	216	6,365
特別損失		
固定資産売却損	-	1,596
固定資産除却損	188	119
特別損失合計	188	1,715
税引前四半期純損失(△)	△218,280	△178,648
法人税、住民税及び事業税	2,356	2,356
法人税等調整額	△270	△252
法人税等合計	2,086	2,104
四半期純損失(△)	△220,366	△180,752

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△218,280	△178,648
減価償却費	185,988	160,086
引当金の増減額(△は減少)	△186,788	△25,142
受取利息及び受取配当金	△2,035	△1,884
支払利息	6,257	8,184
固定資産除却損	188	119
固定資産売却損益(△は益)	△216	△4,768
売上債権の増減額(△は増加)	△879	888,619
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,042,504	△346,163
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,059,956	152,394
未払消費税等の増減額(△は減少)	147,600	△149,091
その他の資産の増減額(△は増加)	△448	18,558
その他の流動負債の増減額(△は減少)	64,321	45,125
その他の固定負債の増減額(△は減少)	417	426
小計	△21,327	567,816
利息及び配当金の受取額	2,035	1,884
利息の支払額	△6,343	△8,662
法人税等の支払額	△4,390	△4,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30,026	556,617
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△35,921	△112,922
有形固定資産の売却による収入	300	9,853
無形固定資産の取得による支出	-	△1,800
投資有価証券の取得による支出	△490	△238
投資有価証券の売却による収入	800	-
貸付金の回収による収入	-	1,581
その他の支出	-	△266
その他の収入	49,863	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,551	△103,792
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△431,500	△444,400
リース債務の返済による支出	△21,605	△29,666
セール・アンド・リースバックによる収入	-	95,171
自己株式の取得による支出	△56	△48
配当金の支払額	△277	△27,471
財務活動によるキャッシュ・フロー	546,560	93,586
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	531,085	546,410
現金及び現金同等物の期首残高	3,442,000	3,305,372
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,973,085	3,851,783

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 売上及び受注の状況

①売上状況

(単位：千円、千円未満切捨て)

事業区分	前四半期累計期間		当四半期累計期間		(参考)	
	自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日		自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日		(平成28年3月期)	
	金 額	比率(%)	金 額	比率(%)	金 額	比率(%)
船用内燃機関	4,695,000	74.6	2,689,000	63.0	7,602,000	68.3
修理・部品	1,595,464	25.4	1,578,255	37.0	3,527,561	31.7
合計	6,290,464	100.0	4,267,255	100.0	11,129,561	100.0

②受注状況

(単位：千円、千円未満切捨て)

事業区分	前四半期累計期間		当四半期累計期間		(参考)		
	自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日		自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日		(平成28年3月期)		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
受注高	船用内燃機関	2,637,000	62.1	2,555,000	65.6	4,749,000	56.8
	修理・部品	1,611,975	37.9	1,341,768	34.4	3,611,137	43.2
	合計	4,248,975	100.0	3,896,768	100.0	8,360,137	100.0
受注残高	船用内燃機関	8,318,000	93.0	7,389,000	94.2	7,523,000	91.6
	修理・部品	623,089	7.0	453,667	5.8	690,154	8.4
	合計	8,941,089	100.0	7,842,667	100.0	8,213,154	100.0